

I 教育目標	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 元気なこども</li> <li>◎ 思いやりのあるこども (今年度の重点目標)</li> <li>○ 自分で考えるこども</li> </ul>

II 経営方針	
目指す幼稚園像	<p>組織目標「みんな、かがやく！」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 幼児にとって「笑顔あふれる幼稚園」</li> <li>○ 保護者にとって「わが子を安心して託せる幼稚園」</li> <li>○ 地域にとって「地域と共に歩む幼稚園」</li> <li>○ 教職員にとって「幼児の成長を共に喜べる幼稚園」</li> </ul>
目指す幼児像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 元気なこども 基本的な生活習慣や態度を身に付け、心も体も十分に動かして遊ぶ幼児</li> <li>◎ 思いやりのあるこども 豊かに感じる心や素直に表現する力を養い、自分も友達も大切にする幼児</li> <li>○ 自分で考えるこども 考えたり試したりしながら自分の力で遊びや生活に取り組もうとする幼児</li> </ul>
目指す教師像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ こども一人一人を大切にして、人権尊重の精神を基調に、専門職としての力量と責任をもって職務を遂行する教師</li> <li>○ 幼児理解に努め、心のふれあいを大切にし、元気で明朗な信頼される教師</li> <li>○ 保護者、地域の期待や願いに誠実に応え、努力を続ける教師</li> </ul>
経営理念	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「こどもまんなか」の実現 こどもが初めて経験する集団生活の学びの場として、安心して伸び伸びと活動し、自立と社会性を学びながら個性や能力を伸ばす。</li> <li>2 「みんな、かがやく！」一人一人を大切にする教育の推進 発達の段階、養育歴、家庭環境、国籍等、さまざまな実態を踏まえて、全てのこどもが互いの多様性を尊重できる教育を行う。</li> <li>3 「安心、信頼」して共に歩むことのできる保護者 保護者の願いや思いを受けとめて、子育ての悩みに対して真摯に対応し、支援していくとともに、家庭と幼稚園相互の信頼関係を基盤に、互いの共通の認識と方針のもと、教育活動を進めていけるようにする。</li> <li>4 「常に進化し、成長し続ける」教師 園長を中心とした教員の人材育成を推進する。教師としての自覚と誇りを持ち、サービスの厳正に努める。</li> <li>5 「連携・協力」の推進 平久小学校の併設園であることを強みとし、学びの連続性を意識した保育を実践する。近隣保育園との連携や中学校の職場体験学習を充実させていく。</li> <li>6 「ライフワークバランス」 ライフワークバランスを意識して、会議の精選、ICT機器の活用を積極的に行い、教職員の業務量を減らし、教材研究の時間を確保する。</li> <li>7 地域との連携 木場の街で過ごすことに誇りを持ち、平久幼稚園に愛着をもてるようにする。</li> </ol>

### Ⅲ 経営目標

重点領域 1		基本的生活習慣の確立
中期経営目標	一人一人が自己を十分に発揮しながら、自信をもって自分で行動することの喜びや充実感を味わえる教育を推進する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを自分でしようとする意欲や態度を育てる。</li> <li>・教師や様々な人との信頼関係を基盤に挨拶や返事、思いを伝える、話を聞く、片付け等の習慣や態度が身に付くようにする。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	幼児が安心して自分を表しながら園生活を送れるように、全教師は幼児一人一人と丁寧に関わり、信頼関係を築けるようにする。	保護者アンケート「お子さんは教師に信頼感をもち、安心して園生活を送っている」の肯定的評価を100%にする。
2	衣服の着脱や排泄など、基本的な生活習慣を確実に身に付け、自分のことは自分で行うことで自信をもって園生活を送れるように指導する。	保護者アンケート「自分のことは自分でしようとするようになった」の肯定的評価を100%にする。
3	教師との信頼関係を基盤に、挨拶や返事、「ありがとう」「ごめんなさい」などを言う習慣や態度が身に付くように指導する。	保護者アンケート「自分から挨拶（「おはようございます」「ありがとう」など）ができるようになった」の肯定的評価を100%にする。
4	話を聞く態度が身につくよう、教師は幼児の目を見て話を聞くようにしたり、相手が話していることに気付かせたりするなど、話し方や援助の方法・視覚教材の工夫等を行う。	保護者アンケート「以前よりも相手に関心を持って話を聞くようになった」の肯定的評価を100%にする。
5	保健所と連携して食育指導を行ったり、野菜等の栽培や収穫を行ったりして、食に対する興味や関心を育む。	保護者アンケート「野菜の栽培や収穫、食育指導等を通して、以前より食物に関心をもち、食べるようになった」の肯定的評価を100%にする。

重点領域 2		豊かな心と体、自ら考える力の育成
中期経営目標	伸び伸びと遊び、多様な自然体験や生活経験をする中で、豊かな感性や知的好奇心を養い、自ら考え取り組む意欲や態度を育成する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かに感じ人との関わりや様々な体験を通して、思いやりや協力する力を育む。</li> <li>・感動する心や物事に気付く力を養い、自分から考えたり、試したりする思考力を育む。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	菊の花・野菜の栽培活動や近隣の公園等を活用した自然との触れ合い、飼育物や移動動物園での触れ合いの機会を計画的に取り入れる。	保護者アンケート「自然体験を大切にし、生き物への愛情や情操が豊かになる教育活動を行っている」の肯定的評価を100%にする。
2	幼児が直接体験を通して好奇心や探求心をもてるよう、園内の環境の改善・工夫について話し合い、週案に記したりすくすく通信に残したりする。	保護者アンケート「幼稚園は、直接的な体験を通して、好奇心や探求心が育まれる環境を整えている」の肯定的評価を100%にする。
3	人と関わる中で、自己発揮や自己抑制の体験を重ねるとともに葛藤体験を通して相手の立場に立って行動したり、きまりを守る必要性に気付いたりできるようにする。	保護者アンケート「幼稚園は、思いやりの気持ちや規範意識を育む教育を行っている」の肯定的評価を100%にする。
4	異学年との交流活動「なかよしタイム」や近隣保育園・中学校及び併設小学校との交流を意図的・計画的に行う。	保護者アンケート「幼稚園は円滑な接続のための交流・連携や指導を行っている」の肯定的評価を100%にする。
5	専門的な技能をもっている方をゲストティーチャーとし、年間4回招聘する。	保護者アンケート「専門的な知識・技能をもつ人との関わりを通して多様な興味関心を引き出す活動を行っている」の肯定的評価を100%にする。

重点領域 3		保護者・地域との連携
中期経営目標	親しみやすく開かれた幼稚園づくりをすすめる、家庭・PTA・地域と連携協力し、信頼される園運営を進める。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者が相談しやすい環境を整え、意思疎通を図り、一人一人の幼児の成長や個別の課題に応じた教育方針を共有し、共通理解して保育に臨む。</li> <li>・幼児が地域への愛着をもったり、幼児を取り巻く大人たちがつながりを深めたりできるように、保護者や地域と連携して教育活動を進め、充実させる。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	保護者参加型保育参観を年 3 回、保護者協力型行事を年 3 回以上実施する。	保護者アンケート「幼稚園の参観や保育参加の機会は適当である」の肯定的評価を 100%にする。
2	個人面談年 2 回、子育て相談日を随時設定する。	保護者アンケート「幼稚園は家庭との連絡や保護者と話す機会を設定している」の肯定的評価を 100%にする。
3	親子登園を年 27 回、預かり保育を年 15 回実施する。	保護者アンケート「親子登園・預かり保育などを通して、保護者の子育て支援になっている」の肯定的評価を 100%にする。
4	盆踊りへの参加、地域における買い物活動、図書館・公園等の公共施設の活用等の活動を地域・保護者と連携し年 5 回以上実施する。	保護者アンケート「幼稚園は、保護者・地域と共に連携し教育活動を行っている」の肯定的評価を 100%にする。
5	幼稚園だよりを月 1 回、幼稚園ホームページを週 2 回以上更新、すくすく通信（学びの物語）を週 2 回以上発行する。 入園を考慮中の家庭に対して、園の紹介パンフレットを作成・配布を行う。	保護者アンケート「幼稚園は教育方針や教育活動を園だよりや掲示板、保護者会、ホームページなどでわかりやすく伝えている」の肯定的評価を 100%にする。

重点領域 4		保育実践力の向上
中期経営目標	教職員が得意なことを生かし、互いのよさを認め合い、学び合える職場作りをする。教師一人一人が向上心をもって自己研鑽し、質の高い幼児教育を推進する。	
短期経営目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師一人一人が「幼稚園教育において育みたい資質・能力」「就学前教育スタンダード」等についての理解を深め、それらを踏まえた教育活動の充実を図る。</li> </ul>	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	「幼稚園教育において育みたい資質・能力」「就学前教育スタンダード」を踏まえた週案や指導計画を作成し、実践する。	保護者アンケートの「教師は、就学前教育スタンダードを踏まえた保育を行っている」の肯定的評価を 100%にする。
2	園内研究会を月 1 回以上、研究保育を行い、学びを共有する。また、月 1 回参加する区幼研で各園の実践を学び、自園に合わせた形で取り入れ、保育実践力の向上を図る。	保護者アンケートの「教師は、研修会に積極的に参加したり、園内で研究会を行ったりして資質向上に努めている」の肯定的評価が 100%になる。
3	日頃から報告・連絡・相談を密にし、互いに補い合いながら、幼児の成長を喜び合うチーム保育を進める。	幼児理解に努め、幼児一人一人が安心して教育活動に取り組めるようにする。